



お知らせ
情報公開



避難に係る情報や企業支援などをお知らせします。

3/6 一時帰宅に通過交通にほっと安心寄っトイレ

村は、一時帰宅する村民や通過交通者に利用してもらおうと、営の公衆トイレ「いいたてほっと安心寄っトイレ」を県道12号線沿いにオープンしました。

寄っトイレは、JAそうま「ミートプラザ」の屋外トイレを、村が借りて改修したもので、改修費や賃借料、清掃費などは国の交付金を活用しています。

全村避難後、除染作業車や一時帰宅者などの往来で、村内の通行量が増えていたものの、利用できるトイレが限られていたことから、



▲開所式の様子（左から内藤一 JAそうま代表理事、菅野典雄 村長、本田八郎草野野行政区長）



利用時間：午前7時～午後8時半
場所：県道12号線沿い
JAそうま「ミートプラザ」屋外トイレ

道路沿いの看板が目印

村民や村外の通勤者から「村内でトイレ休憩できる場所を作ってほしい」との要望を受けていました。寄っトイレの開所式に出席した見守り隊の隊員は、「パトロール中にトイレが無くて不便だった。県道沿いにトイレができて安心した」と話していました。

八木沢トンネル工事着工へ起工式



▲起工式でくわ入れを行う菅野村長（手前）

避難指示解除見込時期を1年延長



▲国の担当から通知を受け取る菅野村長（右）

3/4 国が避難指示解除見込時期の見直しを示す

「避難指示解除見込時期の見直し」について、3月4日に国原子力災害現地対策本部の担当者から菅野村長に通知が伝達されました。

今回の見直しは、「平成23年3月11日から3年」としていた「長泥行政区、比曽行政区、前田・八和木行政区および蔵平行政区を除く16行政区」における避難指示解除見込み時期を、「平成23年3月11日から4年」に変更するものです。

村が、県にかねてより要望していた、交通難所である県道原町川俣線八木沢峠の八木沢トンネル（仮称、延長2・3キロ）を含む延長2・9キロのトンネル本体工事が着手されました。3月26日に、トンネルの起点となる南相馬市原町区大原現地で起工式が行われ、関係者がくわ入れをして、工事の安全を祈願しました。

八木沢峠は急カーブや急勾配に加え、冬期間の凍結が通行の支障となっており、今年2月の大雪の際も、5日間通行止めになった難所です。また、震災後、相双地域からいわき地域への迂回路として、交通量が以前の約1・5倍に増えており、トンネルが開通することで、通勤や通学等が円滑になるほか、村の復旧・復興作業の基幹道路としても大きな役割が期待されています。



▲仮設住宅で、火の用心を呼びかけました

3/1 火災予防を呼びかけ

南相馬消防署飯館分署は、3月1日から7日まで「春季火災予防運動」として、村消防団、村女性消防隊、飯館分署の職員による仮設住宅防火訪問や村内墓地への防火看板設置などを行いました。

仮設住宅を訪問した消防団員等は、「3月は空気が乾燥している時期で、一度火災が起きると延焼拡大するスピードが速くなるので、十分注意してほしい」と火の用心への協力を呼びかけていました。

復興の第一歩として 村内継続・再開事業所への支援

村は、村内で事業継続及び再開している事業所への支援として、「飯館村企業支援奨励金交付式」を飯野出張所で開き、菅野村長が、対象となる事業所の代表に決定通知を手渡しました。奨励金は、避難区域の中、村内で仕事を続けている事業所を支援するもので、事業所が納めた固定資産税の額に応じて、対象の20事業所に合計800万円ほどが交付されました。

3/17



▲菅野村長から奨励金を受ける(株)ハヤシ製作所の林武志代表取締役（左）

入札結果

工事（業務）の番号・名称	契約額（税込み）	請負業者	完成予定
平成25年度 仮設中学校校庭整備工事	4,657,500	佐藤工業(株)	平成26年3月下旬
平成25年度 公民館地質調査業務	2,730,000	庄建技術(株)	平成26年3月末

入札日 / 平成26年2月27日(単位：円)